

# 第4回 官民合同会議 i n 博多

災害に強い地域作りに必要な情報共有と利活用とは？

～近年の地震災害・水害から学んだこと～

## 宮崎県の防災上の課題

宮崎県 総務部 危機管理統括監

藪田 亨

令和2年1月24日（金）

会議・研修施設 ACU博多



# 宮崎県の防災上の課題



## 課題① 災害への事前の備え

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」では、

- 頻度の高い降雨等 → 施設(ハード対策)で守り、
  - それを超える降雨等 → 命を守る、経済の壊滅的な被害を回避
- そのための、**ソフト、ハードの事前の備えが必要**

## 課題② 災害の監視・連携体制

- 災害の発生を事前に察知し、早めの避難に結びつける
  - 市町村や県と気象庁など関係機関が連携して対応
- そのための、**24時間の災害監視と連携体制の整備が必要**

## 課題③ 災害への対応

- 災害が広域化、激甚化し、被害の全容解明が困難
  - 単独の機関では対応が困難で、関係機関の連携が必要
- そのための、**関係機関の能力の把握と連携した訓練が必要**

# 課題① 災害への事前の備え

## 【これまでの対策】

### 1 大規模災害対策基金の設置

H25年度5億円、H27年度30億円に

### 2 ソフト対策（県民の啓発、早期避難等）

ハザードマップ、防災マップ、避難計画の作成、防災士の養成

### 3 ハード対策（耐震化、護岸工事等）

耐震工事、護岸工事、避難タワーの設置等

## 【懸案事項】

災害への備えをしている県民 43.7%

→ 避難行動に直接結びつくようなリアルタイムでの情報提供



## 課題② 災害の監視・連携体制

### 【これまでの対策】

#### 1 県庁の体制強化

災害監視室設置(24時間体制)、  
災害対策本部事務局の編成見直し・強化  
防災拠点庁舎の建設



#### 2 大規模氾濫等に関する減災対策協議会

タイムライン作成、ホットライン構築

### 【懸案事項】

様々なシステムに情報が散在

→ 各種情報を集約して、災害等の全体像の把握が必要

## 課題③ 災害への対応

### 【これまでの対策】

#### 1 新たな総合防災訓練の実施

ブラインドを取り入れた実動訓練  
図上訓練による指揮機能の強化  
関係機関が連携して対応する訓練 等

#### 2 広域連携体制の構築

南トラ九プロ会議、県津波対策協議会、災害時応援協定締結

#### 3 防災拠点等受援体制の整備

後方支援拠点(12)、広域物資拠点(5)、航空搬送拠点(4)等

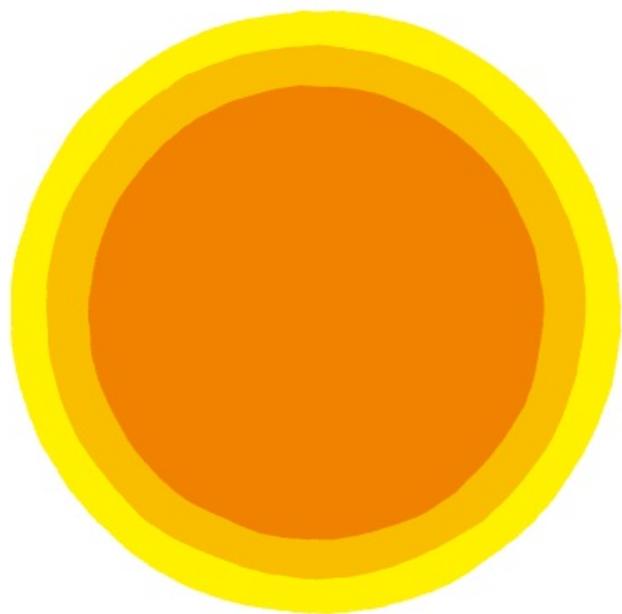
### 【懸案事項】

情報の共有、情報に基づく対策が長年の課題

→ 収集した情報をリアルタイムで共有するシステムの構築



ご清聴ありがとうございました！



hinata  
MIYAZAKI

# 略歴票

宮崎県 総務部 危機管理統括監  
藪田 亨

1983年4月 宮崎県入庁

2016年4月 総務部参事 兼 市町村課長

2017年4月 危機管理局長 兼 危機管理課長

2018年4月 労働委員会事務局長

2019年4月 現職

